

# 報 告 書

No. 1

名 称	ナショナル・トレーニング・システム(NTS)		九州		ブロックトレーニング				
実施期間 1	2019年 8 月 31 日 ~ 9 月 1 日								
開催場所 1	山鹿市総合体育館								
実施期間 2	2019年 9 月 7 日 ~ 9 月 8 日								
開催場所 2	オムロン鹿陽センター, 合志市総合センターヴィーブル								
参 加 者	スタッフ	66	名	デモンストレーター	54	名	U-16	81	名
	U-13	78	名			名	合計	279	名
<b>目 的</b>									
NTS 九州 ブロックトレーニング に於ける発掘・育成活動について									
<b>活 動 内 容</b>									
日 時	時 間	内 容							
U-16 8月31日	10:00	コートづくり 各所準備 スタッフミーティング							
	10:30	インストラクターミーティング							
	12:00	受け付け開始 スタッフ集合							
	13:00	開始式							
	13:15	体力測定(30m走、立ち幅跳び、イリノイテスト)							
	14:00	実技開始(ディフェンス)							
	16:30	体力測定(ハンドボール投げ)							
	16:50	実技終了							
	17:00	宿舎移動							
	19:00	夕食							
		注意事項等伝達							
	22:00	就寝							
U-16 9月1日	7:00	起床 集合して散歩・体操							
	7:30	朝食							
	8:00	宿舎出発							
	9:00	実技開始(オフェンス)							
	12:00	昼食							
	13:00	実技開始							
	14:30	紅白戦							
	16:00	終了 終了式							
	17:00	スタッフミーティング							

U-13 9月7日	10:00	コートづくり 各所準備 スタッフミーティング
	10:30	インストラクターミーティング
	12:00	受け付け開始 スタッフ集合
	13:00	開始式
	13:15	体力測定(30m走、立ち幅跳び、イリノイテスト)
	14:00	実技開始(ディフェンス)
	16:30	体力測定(ハンドボール投げ)
	16:50	実技終了
	17:00	宿舎移動
	19:00	夕食
		注意事項等伝達
	22:00	就寝
U-13 9月8日	7:00	起床 集合して散歩・体操
	7:30	朝食
	8:00	宿舎出発
	9:00	実技開始(オフェンス)
	12:00	昼食
	13:00	実技開始
	14:30	紅白戦
	16:00	終了 終了式
	17:00	スタッフミーティング

<b>成 果</b>	
U-16・U-13カテゴリーにおいて、予定どおりそれぞれ2日間ずつ開催された。	
九州全県から優秀かつ将来性豊かな選手が推薦されており、ナショナルスタッフ関係者が多くを占めるブロックインストラクターがアドバイザー、各県から選出されたインストラクターが指導者を務めた。	
ブロックインストラクターが指導者にトレーニングの意図を明確に伝えていたことで円滑に進めることができた。またトレーニングを通して、指導者は選手に対して的確な指導をすることはもちろん、自分自身の知識や指導力も伸ばしているように思えた。	
選手たちもブロックトレーニングに選ばれた自覚や参加する意義を理解し、積極的にトレーニングに参加していた。また指導者の熱意ある指導が選手に伝わったことも選手の意欲に繋がったと考えられる。今回は2会場でのトレーニングとなったが、運営スタッフで役割分担し受付や事務作業をスムーズに進めることができた。	
今回のトレーニング内容を、各県の運営委員及び技術指導委員が各県での講習会を通して広めていくことが確認された。また指導者だけでなくブロックトレーニングに参加した選手たちが自チームの選手にトレーニングの意図を広め、技術として定着させていくことでジュニア世代のさらなるレベルアップが期待される。	
<b>今後の課題</b>	
選考基準の意図や解釈が各県によってばらつきがあるように感じた。身長や利き手の基準を重視しているが、低身長で小柄な選手でもスピード、技術に秀でていればセンタートレーニングに推薦されることが十分あることを今一度明確に伝えていく必要がある。すでにセンタートレーニングではU16とU13の二つのカテゴリーに分けており、U13には小学生の選手もいる。小学生の選考は特に難しいことから、再度基準を明確にする必要があると思われた。また、選手への指導内容に対する事前研修(打ち合わせ)の時間の確保や事前研修を年に数回開催することで共通理解を深めたいという要望もあった。	
来年度も今年と同様にU13とU16というカテゴリーに分けてトレーニングが行われる予定である。運営スタッフやインストラクターの役割分担や共通理解、人員の確保が必要であると考えられる。	
<b>責 任 者</b>	田 中 守 印